

◆ 精度管理セミナー「コスモス」 平成22年11月 札幌大にて開催! ◆

北臨技生涯教育研修部長 三浦 玲子

全道各地で開催していた「はまなすセミナー」が衣替えをしてトータルマネジメントセミナー「マウレ」となり、昨年度まで開催してきました。「はまなすセミナー」は宿泊研修会として開催していましたが、会場確保の難しさと共に、会場までの交通機関の利便さから札幌開催を望む会員の要望もあり、「マウレ」は総合管理運営セミナーとして札幌で開催してきました。しかし、立脚点が曖昧であるとの意見が多く、管理運営と精度管理の別開催を希望する声が高まったため、今年度から精度管理に特化した「精度管理セミナー コスモス」を立ち上げることと成りました。第161回北臨技講習会(生物化学分析部門)と合同で11月20-21日に札幌市で開催する運びとなりました。

毎年3月の第一土曜日に開催されている日臨技の精度管理調査報告会に参加されたことはありますか?朝からびっしりと精度管理調査10項目の解析と課題・問題点等が担当者から

報告されます。北臨技もそれに倣い分野分けをせず、一会場開催といたします。

内容としては、北海道独自で実施している項目と日臨技精度管理調査の道内参加会員施設分の解析及び全国との差異問題点等について基準統一の為の課題を提示いたします。この他に千葉県臨床衛生検査技師会の精度管理事業の運営と日臨技検査値標準化事業に関する二つの講演を用意いたしました。

なぜ「コスモス」という名称をつけたかは、全部門合同講習会が学術セミナー「しばれ」となったように定着を図るためであります。生物化学のように基準物質があつて数値で行うところ、基準物質のない生理や形態の精度管理と全てを含む混沌の象徴として、「宇宙:コスモス」に決まりました。ですが、漢字ではなくイメージがふくらむカタカナで表記することとなりました。

11月は多数の参加をよろしく願います!

● 全国会長&代議員合同会議報告 ●

8月8日(日)午前9時より午後4時まで、大森東急インにて日臨技の全国会長・代議員合同会議が開催されました。

本会議では、会員の皆様もご存じの通り今年4月から高田新会長の体制となり前執行部からの持ち越し事業と新執行部の立候補趣旨に基づく平成22年度事業計画一部修正・廃止についての説明が行われました。

一番重要なことは「日本臨床衛生検査技師会」として一般社団法人を申請し、公益法人取得を目指す結論を出したことです。執行部は新法人の選択に向け、法律家や行政、医療技術者団体で公益法人を取得した団体等の話を聞き、事業を整理し、内容を検討した上で選択したとのこと。公益法人を取得後、事業内容と決算で「公益法人に相応しくない」となった時、その法人は解散となり、存在できなくなります。資料として提示された新定款の事業19項目のうち、公益事業として認められるのは、「検査値標準化に関すること」「国民の健康増進に関すること」「公衆衛生の向上に関すること」の三項目だけです。一般社団法人を選択し、会員の資質向上を図り、それにより国民の健康増進及び公衆衛生の向上に寄与すると明言されましたことを報告いたします。

来年度から検査技師会の年会費は個人の口座自動引き落としとなるのも、その為の一助なのです。高田会長の立候補趣意書に年会費の中から賠償責任保険料を負担するとありました。このことは年会費の自動引き落としをして一括で保険会社に支払うことで保険料が安くなると同時に、検査技師会が国民に対して、もし万一のことが起きて責任を持ちますという公益性を高める意味があるのです。年会費の払い込み方法や賠償責任保険に対してかなりの質疑がありましたが、執行部からの具体的な説明や会員への広報、周知徹底までの期間を設けること等で収まりました。

積み残し事業として精度保障施設認証制度がありますが、大筋はできていてもまだ細部が固まっておらず、正式な話は伺うことができませんでした。

今回の会議内容を基に北臨技も諸々の案件を検討いたします。

HPV予防ワクチン接種全額公費助成署名活動にご協力を!

HPV予防ワクチン接種全額公費負担嘆願のため日臨技は「100万人署名」を目指しています。10月初旬に日臨技から厚生労働大臣に提出します。

北臨技会員皆様のご協力をお願いします。

同封の依頼文書を確認の上、北臨技事務所へ9月8日必着で署名用紙の送付をお願いいたします。

第160回講習会 終了! 形態部門長 田中 浩樹

第160回北臨技講習会「病理技術者の匠 Part4」を7月30日(土)8月1日(日)札幌医学技術福祉専門学校にて開催し、54名の参加者で盛会に終了いたしました。本年度は実習を含めた技術セミナーでテーマを『薄切』としました。実習では動物試料ブロックを使用し、各社マイクロトームを体験し標本を作製しました。施設の薄切技が飛び交い「目から鱗が落ちる!」有意義な時間でした。リアルタイム顕微鏡を使用した過去の染色コンペのチャンピオン標本の提示、実際の顕鏡を実施しました。講義では1日目は標本作製時間短縮のためのテクノロジーの紹介、マイクロトームの構造とメンテナンス、硬組織の薄切の技術、病理検査における技と工夫。2日目は細胞診染色の標準化、オートプシーイメージングと病理解剖、マクロ病理学の講演を拝聴しました。病理技術の伝達と施設間の情報の共有を目的とした講習会でしたが、番外編のバスで移動した情報交換会も盛り上がり、病理技術者のネットワークが出来たものと思います。



■ 訃報

斉藤 明德 氏 (岸本医科学研究所 静内)
8月20日 逝去されました
謹んでご冥福をお祈りいたします

◇ 求人情報 ◇

正職員 苫小牧市 脳神経外科医院 生理検査
(希望があればパートも応相談)

※詳細は北臨技事務所までお問合せください